

■演題17 結腸膀胱瘻に対する LECS (Laparoscopy and Endoscopy cooperative surgery)

代表演者：加藤大 先生（鳥取市立病院 外科）

共同演者：[鳥取市立病院 外科] 大石正博 小寺正人 山村方夫 池田秀明 水野憲治 谷悠真
山下裕

当院では2年前より消化器内科と合同で胃癌、胃粘膜下腫瘍の8例に対して腹腔鏡内視鏡合同手術（Laparoscopy and Endoscopy cooperative surgery : LECS）を行ってきた。今回84歳女性のS状結腸憩室炎に起因したS状結腸膀胱瘻に対して、膀胱鏡を用いたLECSによるS状結腸部分切除＋膀胱部分切除術を行った1例経験した。その手術手技を供覧する。

通常の開腹手術であれば大きな侵襲となりうるどころ、LECSにより低侵襲かつ整容性を保った手術が可能となり、膀胱鏡を併用することにより瘻孔を安全に確実に切除でき、尿管口も確実に温存できた。

現在までにS状結腸膀胱瘻に対してS状結腸部分切除＋膀胱部分切除をLECSで施行した報告例はない。今回の膀胱鏡を用いたLECSは、今までの上部消化管内視鏡を用いたLECSと手術手順、手技は非常に類似しており、特別な違和感を感じることなく安全に施行することができた。